オリエンタルな雑貨でリゾートホテル風に

ルビぼん

右・オレンジ色の壁がアクセントになったリビング。オリエンタルな雰囲気が落ち着いた空間作りを醸し出しています。「お香は毎日たいています」と香りの演出も忘れません。　下右、左・右側に入りの骨董品をガラスのキャビネットの中に並べて。コレクションしている陶やガラス製品は旅先で購入することも多いのだそう。

やさしい色合いの壁色が落ち着きとぬくもりのある空間を演出

的場敏行さん「オリエンタル産業株」代表取締役社長

建築や不動産関係の会社を営む、いわば住宅・建築のプロである的場さん。マンションを購入してから何年かは白い壁のまま暮らしていましたが、ふと家の中に色が欲しくなり壁を塗ったといいます。「自分で家に手を入れると、その家にさらなる愛情が湧いてくるようになるんですよね」と的場さん。「壁を塗る」という行為は、究極的なケケセントになるだけでなく、暮らす人の等しさを演出するため必要になっているようです。実際この部屋の壁は、すべて的場さん自身がペインタ、ダイニング、リビングの壁を合わせて2〜3時間で塗りおえたのだそう。「全面塗るだけでなく部分的に塗るだけで部屋の表情ががらっと変わります。夜も美しい陰影が楽しめますよ」。

洗面所の壁にもオリエンタルな雑貨やかごを置き、まるでディスプレイしているかのように美しく収納しています。

ルビぼん

ライムグリーンがナチュラルな空間の差し色に

ライムグリーンの壁はアチュラルな家具と相性抜群。今回使用した塗料は、的場さんの会社が日本総代理店を務める、オーストラリアのメーカー「ポーターズペイント（www.porters-paints.com）」のもの。繊細な色合いと質感に定評があります。

間取り図

間取り3DK／一人暮らし／SLDK／築10年／持ち家（集合住宅）